

# 砺波市立梅檀山公民館

## ◆事業の目的

砺波市庄東地区にある国史跡の増山城跡の他にある地元で浅野谷城とも呼ばれている「安川城」があるが、その存在を知る人が少ないのが現状である。今回、安川城再生プロジェクトを実施し、庄東地区の住民が中心となって、その魅力に触れ地域資産である城跡を再生し、その歴史を再発見する。

## ◆事業の流れ

実施日	活動名	場所	参加人数
6月 5日(火)	安川城を学ぶ	梅檀山農村集落センター	42名
6月23日(土)	安川城草刈ボランティア	安川城跡	28名
7月 8日(日)	安川城散策会	安川城跡	72名

## ◆事業の様子

### ☆ 安川城を学ぶ

砺波市学芸員の野原大輔さんをお招きして勉強会を開催しました。梅檀山地区の方々、梅檀野公民館・般若公民館・東般若公民館の皆さん、増山城解説ボランティアの会で曲輪の会の皆さんにも大勢参加いただきました。野原学芸員のエネルギッシュな話に引き込まれ聞きました。スライドや山城マップを使つての講義は地元の住民としても知っておくべき事柄も多くありました。

### ☆ 安川城草刈ボランティア

梅檀山公民館の役員、曲輪の会の皆さん、現在の城主である順徳さん、ネットで見て参加してくれた南砺福野高校ボランティア部の3人も加わって実施しました。曲輪の会や高校生は柄の長いカマで草を刈る作業を担当、地元の者は動力付きの草刈り機で灌木やササ、草を刈りました。三の丸・堅堀・井戸の跡など城の形態が残っている場所を見やすく刈りました。城内に積んである丸太も移動して終わりました。

### ☆ 安川城散策会

北陸城郭研究会の佐伯哲也先生に特別講師を依頼し、詳しく安川城について学ぶ絶好の機会となりました。梅檀山高齢者学級の皆さんも多く参加頂きました。今日のお話をお聞きすると「強者どもの夢の跡」という感が一層感じられて、山城は面白いです。



## ◆事業の成果と課題

今回の『安川城再生プロジェクト』ではその歴史について学び、城趾はもちろん、そこまでの山道を整備し、城に詳しい先生から縄張りや堅堀、堀切などについて現地でも学ぶことができた。この事業で、地元民をはじめ、他の庄東3地区の公民館傘下の方々や県内の山城に造詣の深い方々にも安川城跡が歴史探訪コースの一つとなりました。

現在、安川城跡は個人所有の地となっているので、気軽に訪れる事ができる場ではあるが、植物の採取やゴミの投棄、樹木の枝葉を折る等のマナー違反がないようにする必要があり、所有者の善意を裏切るような行為は慎むことが大切です。また、安川城跡を今後も継続して人々が訪れる地にするためには、定期的な草刈りや倒木、枯れ木等の整備が必要であります。